

ぎかい



2018.7.17

小国町議会だより 第137号

フレッシュ!



表紙関連記事は16ページ

おぐに産
頑張っ
ます



主な内容

- 2～5 ページ 6月定例会
一般会計補正予算額5252万円
緊急質問、動議提出も否決。
- 6～12ページ 町の考えを問う
一般質問 6名
- 13～15ページ 委員会から

総額5252万1千円を可決

58億1806万3千円に＝



5月豪雨被害復旧経費 650万円

5月17日から18日の大雨により発生した河岸決壊や町道各路線の法面崩壊復旧事業に関する測量調査等 650万円

◆条例の制定◆

- 小国町一般職の職員の特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例の制定

人事院勧告に基づく国家公務員の特殊勤務手当の改正に準じて一般職の職員の特殊勤務手当の改定を行うもの。

- 小国町税条例の一部を改正する条例の制定

生産性向上特別措置法の施行に伴い、所要の改正を行うもの。

- 小国町医療給付条例の一部を改正する条例の制定

高額療養費の負担上限額の見直しに伴い、重度心身障がい者(児)医療証の対象者の負担上限額が引き上げになることに対し、山形県として現状の負担上限額を維持することとしたため、所要の改正を行うもの。

- 小国町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定

地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、所要の改正を行うもの。

◆財産の取得◆ ロータリ除雪車(2.2m) 1台 4299万円

◆協定の締結◆ 置賜定住自立圏の形成に関する協定。

定例会の あらまし

6月定例会は、6月7日から12日の6日間の会期で開催された。各会計補正予算8件、条例の改正4件、財産の取得1件、協定の締結1件、人事案件3件が上程され、原案どおり可決した。一般質問では、6名の議員が町政全般について、町当局の考えをただした。また、請願2件が提出され、1件は不採択、1件は継続審査となった。

**6月
定例会**

一般会計補正予算

= 一般会計予算総額は

一般会計補正予算の主な内容

総務費	維持補修工事費・修繕料	205万円
	役場庁舎チップボイラー設備修繕など	
	移住世帯向け食の支援事業	60万円
	小国町に移住された方に対し米、みそ、しょうゆを支給する県の補助制度	
衛生費	斎場設備修繕	17万円
農業費	片貝地区農業用水路改修支援	21万円
	農業用ビニールハウス復旧支援	25万円
	松岡合口頭首工幹線用水路復旧工事	92万円
	経営体育成支援事業	356万円
林業費	林道施設復旧作業費	500万円
土木費	町道非常警報設備修繕	70万円
	町道施設復旧作業費	338万円
	あけぼの地内町有地売払測量調査	300万円
教育費	アスネット空調設備修繕	38万円
	公共スポーツ施設アドバイザー謝礼等	15万円
災害復旧費	町道法面崩壊等測量調査費	650万円

企業会計補正予算の主な内容

病院事業会計

人事異動等に伴う人件費の増額
1206万円

水道事業会計

人事異動等に伴う人件費の増額
402万円
周辺地盤等影響測定基準値調査ほか
146万円

老人保健施設事業会計

人事異動等に伴う人件費の減額
△714万円

特別会計補正予算の主な内容

国民健康保険事業特別会計

国保情報システム利用料
28万円

訪問看護特別会計

人事異動等に伴う人件費の減額
△1015万円



緊急質問

最終日、緊急質問が提出された。質問の可否について直ちに採決され、否決となった。

質問者 米野貞雄議員

内容 「車検切れの車を
公用車として運転していた
事態と責任について」

結果 賛成少数で否決

賛成 4名

(米野・小関・石山・今)

緊急質問とは…

質問が緊急を要するとき、その他やむを得ないときに定例議会、臨時議会を問わず質問することが出来る。議会が同意した時に限られるため議会が同意しなければ認められない。

動議

緊急質問が否決された後、動議が提出された。動議を議題とすることについて採決され、否決となった。

提出者 米野貞雄議員

主旨 公用車が昨年6月から3ヶ月間、
車検切れの状態で使用された
ことに関して問題を起こした
背景と再発防止策。最高責任
者である町長が町民に直接説
明と謝罪がないのは何故か。

結果 賛成少数で否決

賛成 (米野・小関・石山)

動議とは…

一般的に、会議の進行中に議員から口頭、または文書で発議され、所定の賛成者があれば成立し日程追加が了承されれば議題となり議決されるものである。

1件は不採択、1件は継続審査

請願

請願名	憲法9条を改憲しないよう国に求める意見書提出の請願	種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願
請願者	西置賜革新懇話会 代表世話人 今泉 義憲（長井市）	置賜農民連会長 小林 茂樹（南陽市） 小国町農民連 本間 義信（小国町）
紹介議員	伊藤 重廣	伊藤 重廣
要旨	憲法9条に自衛隊を明記する改憲を行わないよう国に求める意見書提出を求めるもの。	主要農作物種子法が廃止されたことにより、試験場等の取り組みが後退しないよう予算の確保等を行うこと、また、地域の共有財産である「種子」を民間に委ねないよう対策を講じること。 以上のことについて、意見書提出を求めるもの。
付託委員会	総務厚生常任委員会	文教産建常任委員会
委員会の結果	不採択	継続審査
採決結果	賛成少数で不採択	継続審査

継続審査とは…
会期中に議決に至らなかった事件について、会議での議決を経て、付託を受けた委員会が閉会中に引き続き審査を行うこと。

◆小国町税条例等の一部を改正する条例の設定
個人町民税における控除額の見直しを行うもの。また、固定資産税の負担調整措置の期間延長に加え、固定資産税等の税負担軽減措置の見直し等を行うもの。

◆小国町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
地方税法施行令の改正に伴い、中間所得層の負担軽減を図るため課税限度額の一部見直しと軽減対象者の拡大を図るもの。

臨時議会

第4回臨時議会が4月27日に開催された。地方税法等の一部改正に伴う税条例の制定に関して2議案が上程され、原案通り可決した。

○伊藤 玲子氏（新任）
小国町大字あけぼの

○渡部 孝弘氏（再任）
小国町大字小国小坂町

○志田 藤夫氏（再任）
小国町大字伊佐領

人事

小国町固定資産評価審査
委員会委員の選任に同意
小国町固定資産評価委員会委員
任期 平成33年6月23日まで

一般質問

町の考えを問う

6月定例会では、6人の議員が8件の一般質問を行い、2日間にわたり議論を展開しました。

質問と答弁を要約した内容は7ページから12ページです。

なお全文記録（議事録）は小国町議会ホームページに掲載しますのでご覧ください。

小国町議会

検索

● 小林 嘉 7ページ

- 幸町地区流雪溝の有効利用と安定的な水量確保について

● 間宮 尚江 8ページ

- 次期総合センターにおける温泉機能について

● 小関 和好 9ページ

- 少子化と若者支援について

● 今 康成 10ページ

- 農業政策について
- 商業政策について

● 石山 久美子 11ページ

- 公園の管理と町の景観について
- 本町の教育について

● 米野 貞雄 12ページ

- 人工透析と町立病院の改革プランや院長人事について

🔍 一般質問とは

議員が町長などの執行機関に対し行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

本町議会の質問時間は、1人60分以内で、答弁時間を含みます。

幸町地区流雪溝

安定水量確保のため問題点の解消を

こばやし よしみ
小林 嘉 議員



幸町流雪溝の水量は、十分確保できるのか

小林 山形県営事業として進められてきた県道五味沢小国線の歩道拡張工事、付帯事業の流雪溝設置工事が今年度完了し、流雪溝は今秋から全線で利用可能と聞いている。横道から幸町まで約150世帯が流雪溝の利用が可能となり、活用に期待を寄せているが、通水する水路が増加するため、水路末端の幸町地区から、安定的な水量の確保に不安の声が出ている。冬期間、安定的に水量を確保できるのか伺いたい。

水利権が認可され、十分な水量を見込む

町長 水利権は平成24年金目川上流の井の下土地改良区の取水堰及び用水路を利用することで認可になった。

許可水量は、一日当たり最大5万1千立方メートルで、幸町、増岡西の三地区に通水するに十分な水量と見込んでいるが、水の配分に当たってはそれぞれの沿線相互間で協議していく必要がある。

水路への投雪トラブル、吹雪対策が必要

小林 今冬は、低温・ドカ雪で、井の下用水路の雪詰まり事故が多発した。安定的な通水には対策が必要である。

落雪防止梁を、計画的に設置していく

町長 井の下堰からの導水路は延長も長く、

開渠部分が多いため、雪の塊や倒木や樹木などで、水路がふさがる原因になっている。

今冬は、豪雪に加え気温低下のため、雪の吹込みによる水路のつまりが発生し、水を供給できなかったことが数回あった。これまでも落雪防止梁を設置してきたが、今後も計画的に対応していく。

取水堰の老朽化対策や水路欠陥箇所の対策は

小林 水の確保は、井の下堰用水を活用することになる。取水堰頭首工や水路の老朽化が懸念される。

維持管理はどのように考えているのか。

また、幸町地区内の用水路に手直しが必要な箇所があるが。

井の下土地改良区、幸町地区と協議していく

町長 現在、取水に關しては、取水堰及び水路の保有者である井の下土地改良区に委託しており、冬期間の維持管理作業は建設業者に委託している。施設の老朽化対策は井の下土地改良区と

連携協議していく。幸町地区水路の欠陥は、流雪溝利用組合の方々と協議し対処していく。井の下土地改良区、幸町流雪溝利用組合に加えて、西、増岡地区でも組織いただき各利用組合との連携が重要になる。小国町も活動の支援をしていく。



水源地の老朽化が進む「井の下頭首工」



次期総合センターに 温泉機能整備を

ま みや ひさ え
間宮尚江議員

二宮の湯
健康増進、交流の場
として重要では

間宮 現総合センターの温泉機能は、中心地区内では町民憩いの場となっており、特に高齢者の集い交流の場として、重要な役割となっている。
次期総合センター整備基本計画は子育て支援、文化面には配慮された設計であると認識できるが、高齢社会における集いの場の活用として温泉機能を次期総合センター施設内に組み込むべきではないか。

基本計画は、社会教育的な施設機能としている

町長 温泉機能は保養、休養の場であり、社会教育的な施設機能とは異なるため、計画には組み込んでいない。毎日平均40人を超える方々が利用、親しんでおられることも理解しているが、二宮の湯には、沸出量、湯音、源泉の状況など精査すべき課題もある。
今後の人口構造、社会環境、財政環境から公共施設全体のあり方について検討を加え、課題を整理していきたいと考えている。

どうなる住民サービス

間宮 中心地区における高齢者集いの場、自助・共助の場としての役割も重要と考える。

また、健康増進ということ考えたとき、温水プールも休館している状

況にある。これからの町民の健康増進をどう考えているか。

町長 健康増進・集いの場としての重要性は認識している。プールにしても、プールだけではなく相当のスポーツ施設が経年劣化している状況にあるので、そうしたことをふまえながら優先順位を決め、投資のタイミングを考える必要がある。

間宮 当時から過疎化対策とも言われ、いわゆる人間ダムとして総合センターが誕生した。また、当時は様々な品が寄附されたことから浄財センターとも呼ばれ、町民が支えてきた。半世紀の時を経て、その方々が高齢者となり二宮の湯を大切な交流の場としている。その点を充分考えて頂き再考して頂きたい。

温泉効能の違いを活かした観光交流拠点のひとつとして活用しては

間宮 飯豊温泉のラジウム泉、泡の湯温泉の希少な天然炭酸泉との導線を確保し、温泉効能の違いを活かして二宮の湯を観光拠点のひとつとしていないか。

十分な検討を加え、住民福祉の向上につなげたい

町長 米沢市では、八湯会として立地、泉質の異なる点特徴として観光資源にしている例もあり、非常に重要な視点と承る。公共施設全体の在り方について検討を加え、住民福祉の向上につながる諸条件の課題を整理していきたいと考えている。



親しまれる「二宮の湯」

急激な少子化に対策を 若者に交流の場を創出すべきである

こ せき かず よし
小 関 和 好 議員



**少子化が深刻な状況だ
対策が急務**

小関 少子化関連の質問は、今回で5回目となるが、昨年度の出生数は32人と急激に少子化が進んでいる。

下表に見られるように婚姻数の減少が大きな原因のひとつと考えられる。県内でも各地に「婚活サポート委員会」等の団体が組織され活動を行っている。

当町でも若者が交流できる場面の創出や若い力の集団の創出及び支援。今後、小国町が存続していくうえで重要な事と考えるが、あらためて婚姻

数の増加につながる対策について町長の考えを伺う。

雇用の創出と移住・定住の促進、結婚しやすい環境づくりを進めていく

町長 指摘のように、出生数の減少要因のひとつが婚姻数の少ない事であると考えられるので、若者の定住、Uターン等を促進するため町内就職者の支援を進めている。

この春、町内中学校出身高卒者で町内に就職した人数は15名となり前年度より5名増加している。また、協力隊の任務を終えて小国町に定住した隊員はこれまで4名となっている。

町内への若者の定住は進んできており引き続き町外への若者の流出を抑制し町内への流入を促進していきたい。結婚自体については個人の考え方や価値観に

関わる問題であり個人の自由な選択が最優先されるものであるため、町の関与は慎重に行うべきと考えている。

他方、指摘のとおり少子化の進行は、町の社会経済の持続可能性を危くする大きな課題であると認識しており、結婚しやすい環境づくりを行っていく。

本年度においては、民間団体で取り組む出会いの場の創出に対する支援と結婚に伴うコストの支援を措置している。

交流の場の創出、リーダーの育成は

小関 若者の交流の場面の創出やリーダーの育成が必要ではないか。

若い人の交流は大事

町長 若い人が集まって議論する機会や交流する機会は、大事な事と考えている。

色々な企画やアイディ

アを提示していただいた。い。

背中を押す組織が必要だと考える

小関 他町村のような背中を押してくれる組織・団体が必要だと思いが、どう考えているか。

**支援団体より交流の場
町長** 確かにそのよう

な団体が必要かもしれないが、プライベートな問題であり、若い人には敬遠される向きもある。若い人が集まる場の創出や協力隊のような若い人の流入などに支援していく方が望ましいと考える。

今後も結婚しやすい環境づくりをすすめていく。

平成20年度～平成29年度 婚姻数と出生数

年 度	婚姻数(組)	出生数(名)
平成20年度	39	59
平成21年度	38	60
平成22年度	35	57
平成23年度	32	56
平成24年度	29	59
平成25年度	35	51
平成26年度	22	41
平成27年度	26	52
平成28年度	16	47
平成29年度	19	32
計	291	514



地域振興作物を推進する現状は

今 康成 議員

コメ以外の地域振興作物について

今 コメ以外の地域振興作物を、どう推進してきたか。栽培面積と収量の推移と今後の取組みの方策は。

ワラビ・ソバ・アスパラガスが代表

町長 小国町地域農業再生協議会が主要振興作物を選定している。代表するのはワラビ・ソバ・アスパラガスで、産地化と農地利用の最適化にかかる方策として『とも補償事業』に対する支援、農地へのワラビの作付

振興作物作付けの推移

	ワラビ	ソバ	アスパラガス
平成29年度面積 (単位ヘクタール)	83.4	109.4	5.7
対25年比 (単位ヘクタール)	+6.5	+0.6	+0.3
平成29年度出荷 (単位トン)	9.9	10	7.8
対25年比 (単位トン)	-1.6	+1	-3.2

けの推進などをしている。ワラビの栽培面積は83・4ヘクタール、出荷数量は9・9トン。ソバは109・4ヘクタールで10トン。アスパラガスは5・7ヘクタールで7・8トン。今後は県・町による補助事業を展開し、地域に適した生産振興に取り組んでいく。

ドローン技術導入に積極性を

今 作業の省力化、効率化、生産性向上のためのドローン技術導入に対し積極的に支援していく

べきと考える。その認識は。

活用が期待されるが、導入は農業者の判断による

町長 農業分野でも労働力の確保や大規模経営に対応するための技術革新が国・民間を挙げて取り組まれている。

ドローン技術は圃場の状況観察、種子・肥料・農薬散布への活用が期待されているが、農業者自らが導入の長所・短所を見極め、活用について判断するものと思われる。



どのような再利用が図られるのか期待したい

「アスモ」の空き店舗活用計画はあるか

今 商業の中核施設である「アスモ」の空き店舗活用に関して、いきいき街づくり公社と行政の関与が必要ではないか。構想と具体的な計画はあるのか。

公的な機能での利用や、振興事業への財政面での支援をおこなっている。

町長 昨年から空

きスペースが拡大している状況にある。

買い物弱者に対する事業や、町内における消費喚起などへの取組み、財政的な支援をはじめ、「ふるさと納税」の返礼品の発送業務を委託するなどして「アスモ」の主体性、自主性を尊重しながら財務改善等について情報の共有を図っていく。

神明山公園の管理体制について (県社山)

いしやま くみこ 議員
石山久美子



公園の安全管理は大丈夫か

石山 八木沢橋の右手から神明山公園の広場へ向かう通路が整備されておらず、危険な状況である。途中には倒木もあり、崖つぶちを歩く箇所があり足場が不安定だ。安全管理体制は。

町長 傾斜の急な部分を通行するため、崩れやすい危険箇所があり、現在は通行を制限している。安全に通行するには、全線にわたる安全確保対策を講じる必要があるが、雪や大雨にも耐える通路としての整備確保は現

状では難しい。

神明山公園が十分な整備がなされないのはなぜか

石山 公園を管理するための具体的な業務内容は。

地域整備課長 公園内の見回り、清掃等についてはシルバー人材センターに委託している。

石山 風致公園としてかつては園外保育や小学校の遠足が行われるなどの整備された環境であった。しかし現在は整備状態が良いとは言えない。なぜか。

地域整備課長 13ヘクタールにおよぶ広大な面積を要する公園の全てを美しく整備することは、きびしい状況である。

忠魂碑の損傷が激しいが、どう守るのか

石山 忠魂碑は歴史的に

重要な石碑である。痛みが激しく、今後の保存をどうするのか。

町長 昭和33年8月に小国町心友会を中心とした忠魂碑建設委員会により建立され、管理は現在小国町遺族会に移管されている。

遺族会が管理等に取り組むこととなるが、適切に保存されるよう町としても遺族会の活動状況を注視し支援体制などの情報を提供していく。なお、慰霊碑の性質上政教分離の観点から直接的に関わりにくい面があることもご理解願いたい。

町道小坂町朝篠線の復旧はどうなるのか

石山 5月18日の大雨による神明山公園に接する町道脇の斜面崩落、現在も通行止めの看板が設置され、道路の一部区間が土砂で覆われている。

いつまでこの状況が続くのか、地域住民は不安を抱いているが。

町長 八木沢橋から杉沢側へ100メートルほどの地点で長さ20メートル幅5メートルにわたり崩れた。山形県とも協議を進めながら、公共土木施設災害復旧事業で抜本的な復旧を行う計画である。調査測量費の補正予算を計上した。

他「本町の教育について」の質問。

石山 具体的にはいつ頃、どのような作業になるのか。

地域整備課長 今後、現場の測量調査を行い、7月に国の査定を受け、工事設計等が適正か認定をされた後に、公共土木施設災害復旧事業を進めることになる。



傷みが目立つ忠魂碑



町立病院での透析は 「やっぱり可能だったのではないか」

よね の さだ お
米野貞雄 議員

透析実施への支援は
整っていた

米野 29年4月16日付

山形新聞に、盛田前町長は透析問題について寄稿している。寄稿文の概要は次のものである。

住民の命と健康を守る強い思いを吉村美栄子知事に訴え、知事から「透析の導入は専門医のいる

置賜総合病院で、維持透析は専門医でなくても可能なので町立病院で行う仕組みと一緒に検討しましょう」と述べられ、そ

の後山大医学部や、公立置賜総合病院などの指導を仰ぎ、地元での維持透析こそ最善策との認識に至った。

透析治療は専門的で医療従事者の不安がある。との指摘もありますが、

北里大学の教授から、透析機器の発達により担当医がいれば町立病院での維持透析は実現可能との指導を得ました。

また、「人工透析は病院経営を圧迫する」との声もありますが、患者20人の試算で黒字になると判断しました。看護師2人と臨床工学技師1人の研修は公立置賜総合病院に、専門医によるサポートは、山形大学医学部にお願いしました。残るは、透析担当医の確保です。ようやく町立病院での透析治療の条件が整い、平成29年3月議会で透析開

連予算が可決されました。6月には、院内に透析準備委員会を設置し、透析室の設計も完了、機械選定も終わってよいよ実現という段階での中止でした。

私は、トップの交代を契機にした政争で命に関わることの政策転換があつてはならないと思います。近い将来、町立病院で維持透析が実現することを心から願っています。

と寄稿されていた。私は、透析に関係する方たちの実施に向けた支援が整っていたことが読み取れた。

町長の受け止めについて伺いたい。

前町長の記事はマス

コミ報道 差し控える

町長 私は、検証結果

を踏まえて、新規の医療行為となる透析治療の安全安心の確保は現実的に即していないことから、町立病院で人工透析治

療に取り組むことは難しいと判断したもので、新聞取材対応と相違しているとは捉えていない。

なお、前町長の新聞記事についての所見は、マスコミ報道の事案であるため、差し控えさせていただきます。



議会議員資質向上研修会



- 日時** 5月9日（水）午後1時～3時30分
- 講師** 山形県町村議会議長会
事務局長 武田 裕樹 氏 ゆうじ
- 内容** ・町村議会の制度運営について
・議会制度・運営を大きく変えるこれからの方向性について
- ポイント** 議員の活動とは、議会活動とは、地方議会の議員のなり手不足の実態と要因はどこにあるのか。

第35回町村議会広報研修会

- 日時** 5月31日（木）午前10時30分～午後3時
- 会場** 山形国際交流プラザ（山形市）
- 講師** 芳野 政明 氏（議会広報サポーター）
- 内容** 「住民に読まれ、伝わる議会広報編集のポイント」
県内の12町議会の広報クリニックの実施



- ポイント** 目的にそった企画、編集になっているか。読みやすさ、分かりやすさへの編集技術など広報の優れたところや改善点を学びながらもう一段ステップアップするための研修。

出席広報委員 小関和好、今康成、石山久美子、間宮尚江

議会広報特別委員会		議会運営委員会				文教産建常任委員会					総務厚生常任委員会					
2	1	4	3	2	1	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
その他議会広報に関すること	小国町議会だよりの編集発行および調査に関すること	要望等その他特に必要と認める事項	議長の諮問に関する事項	議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項	議会の運営に関する事項	要望等その他特に必要と認める事項について	白い森まるごとブランド構想の推進について	道の駅の整備について	保小中高一貫教育について	商工業の振興について	その他特に必要と認める事項	置賜定住自立圏に関する取組み	次期総合センター整備に向けた準備について	公共施設等総合管理計画の取組み	新小国町立病院改革プランの取組み	児童福祉に関する取組み

各委員会のテーマ

9月までに取り組み
主な事業

議会議員と語る会を開催しました

6月26日
午後6時～8時
アスモ3階
多目的ホール

テーマ「議会活動に求める～人口減少、少子高齢社会を背景として」



参加者
町民の各層各界、様々な職場で働く24名。各業種の現状を踏まえて町や議会に対する認識や意見が述べられた。

目的
町を取り巻く環境の変化などに対する議会の在り方や、これからの議会及び議員活動の基本的な考え方、方向性を定めるため、町民が議会に期待すること、求めたいことの意見を聴く。

ご意見の一部を紹介します

Aグループ

(企業、金融、商工、農林業、教育機関、観光)

- スピードの時代に足踏みすることなく、少しでも町づくりが進むような前向きな考えで議論してほしい。
- 町民の声が届くように、接する機会をつくってほしい。
- オールマイティが無理なら得意分野で町民の声を聞ける努力をすべき。
- 「議会だより」で議員の活動をもっと見せてほしい。
- こんなに素晴らしい町なのに、そのことの宣伝(P R)が足りないのではないのか。
- 残念だが人口の減少を止める特效薬はない。いま町民が楽しく充実した生活が過ごせるように考えたらよいのではないか。
- 若者、壮年、お年寄りなど、年代別に話し合いをしてはどうか。

Bグループ

(福祉団体、防災、地域、体育・文化)

- 学校統合問題も不安であるが、地域の声が届いているのか不安である。もっと身近で聞いてほしい。
- この会の今後はどうするのか。何が結果として出てくるのか。やったという実績だけで終わらせないでほしい。
- 議会として今後5年、10年先の見通しは出来ているのか。町で出している数字を見ているのらしっかり対策を検討してほしい。
- もっとフリーで若者との会話も必要ではないか。アンケートもひとつの方法だと思う。今年の目標を1つ決めて実行、検証を繰り返していくという考えはどうか。
- 様々な課題に対して町民が納得できるように情報を整理して、話し合いの機会を今後も作ってほしい。

まとめ

熱心に話される参加者からは小国町が好きで、大切に、小国町ほど良いところはないとの思いをいただきました。だからこそ、何とかしたい、との思いも伝わりました。町民と我ら議員の思いは同じです。町民の大きな思いの実現に向けて頑張ってまいります。

お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございました。
(担当 石山)



議会活性化調査特別委員会

『高校生議会と意見交換会』

を開催しました

目的

住民の代表として町民の意見や考えを聴き、町政に反映させる活動が求められている中、その一環として将来に向けた若者の意見を聴き、意見交換を行う。

日程

7月10日(火) 午後1時40分～3時10分

高校生議会

高校生の代表3名が町長に対し一般質問を行いました。

会場 役場4階 議場

出席者 小国高校3年生31名、町執行部、議会議員

- 内容
- ① 小国町で暮らしたいという人を増やすため
小国町芸術ホール建設をしようか
 - ② 小国町の強みを生かした大きなイベントを
町全体で開催してはどうか

意見交換会

会場 役場4階 大会議室

高校生と議員が3グループに分かれ、一般質問の内容に関連したテーマで意見交換を行いました。
高校生ならではの意見が出されました。

※「高校生議会と意見交換会」の詳細については
次号に掲載いたします。

議会活性化研修会(第1部)

日時 4月17日(火) 午後1時30分～2時30分

講師 新潟県立大学国際地域学部
現代行政研究室 准教授 田口 一博 氏

テーマ 「議会活性化から小国町を変える」

参加者 議員、町職員

- 要旨
- ・ 議会の仕事は執行機関の監視だけではない。町全体を見て、住みたいと思う町になるよう町の品質管理を行うことも議会の仕事。
 - ・ 広い町内ではあるが、小規模な自治体で町の職員数が少ないからこそ、議員が普段からこまめに地域を歩き、町民の声を聞くことが大切。住民の声を聞いた議論をすれば活性化にもつながる。



議会活性化研修会(第2部)

日時 4月17日(火) 午後2時45分～4時45分

講師 新潟県立大学国際地域学部
現代行政研究室 准教授 田口 一博 氏

テーマ 「議会の長期戦略としての基本条例の必要性」

参加者 議員

- 要旨
- ・ 新しい議員が出てきてくれるような働きかけとして、議会広報に議員それぞれの選挙活動時の様子や、活動目標などの記事をリレー方式で掲載してみてもどうか。
 - ・ 広報の目標は読んでもらうこと。専門的な知識を持った外部の方に編集作業に携わってもらうなどの、新たな取り組みが必要。



おらも おぐに町民

町の人から
ちょっとひとこと



プロフィール

氏名 大河原沙織さん
年齢 23歳
出身 沼沢

Q どんなお仕事をされていますか

A イチゴ栽培での管理と収穫をしています。

Q 農業の勉強をしているのですか。

A 北海道の酪農学園大学で環境共生学類に所属し野生動物の保全や保護についてや鳥獣法など法律の勉強をしていました。農場実習では作物を育てたり、牛の搾乳とかもやりました。

Q 小国町で好きなところを教えてください。

A 田舎ならではなのか、おじいちゃん、おばあちゃんがすごく優しいです。自然も沢山あって、近所の皆さんが家族みたいな雰囲気が好きです。

Q 小国町で足りない所はありますか。

A 考えたこと無いですけど。

若い子が出てっちゃうのが残念。残ってくれば良いな、と思います。

Q これから、どんなことをやる予定ですか。

A 来年、海外青年協力隊でペルーに行きます。そこでは小学校や地域の人に、大学で学んだことを中心に環境教育をすることになっています。ペルーはスペイン語圏なのでスペイン語をゼロから勉強しないといけません。

Q 小国町での夢はありますか。

A 馬が好きで大学では馬術部でした。馬の牧場が有って、黒沢峠を馬でトレッキングなんて出来れば良いな。



6月になっても露地物のイチゴ収穫は続きます

表紙は、今年の春からイチゴやアスパラガスの栽培作業に従事する大河原さんと山中那智さんです。太陽の下で輝く若者でした。

次は9月定例会です。傍聴においでください。

議会に対してのご質問、ご意見をお寄せください。

議会事務局 (62) 2448

編集後記

習い事などで上手にこなすことができる人を「筋が良い」という。ちっとも上達しない我が身を嘆き、芸達者な人をついうらやんでしまう。

食べ物で筋が多いと敬遠されがちだが、人物で筋が通っているといえれば褒め言葉になる。

話をするときは筋書をうまく作らないと興味を持ってもらえない。本筋から離れたら話は伝わらないし、筋道が通ってないと人を納得させることはできない。

とかくいろんな場所で顔を出す「筋」であるので傷めないように大事にしたい。

今(記)

発行責任者

議長 高野 健人

議会広報特別委員会

委員長 小関 和好

副委員長 今 康成

委員 石山久美子

間宮 尚江